

# いこま乳児院

## 1. 基本方針

- (1) 乳幼児の個々の発達を把握して、出来る限り家庭的な保育看護に努める。  
「巣作りルーム」や小規模グループケアを有効活用し、個々の発達に応じた遊びに、安心して集中できる環境を工夫して個性を豊かに育む。  
また、保育士を増員してクラスを増やし、より個別化に努める。
- (2) 食育活動（菜園活動）を日々の生活の中に取り入れ、色々な食材を見る・触る・おいしく食べる意欲につなげていく。
- (3) 心理士を増員し、家庭支援の強化に努める。関係機関と連携し、家庭支援専門相談員、里親支援員、心理職員等でチームを作り、家庭復帰や里親支援を積極的に行う。
- (4) 敷地内のいこま乳児保育園が行う子育て支援事業に看護師等が協力し、地域の子育支援をする。生駒市要保護対策地域協議会では、地域とのネットワークを密にして、乳児院としての機能強化を図りたい。
- (5) 愛染寮と2か月に1回の連絡会議を実施し、合同保育や施設間の交流・研修等を通じてお互いに連携を深められるよう努める。

## 2. 主な年間行事予定

月	行 事 内 容
4	滝寺花まつり
5	こどもの日、春の遠足、職員研修、近畿乳児福祉協議会
6	職員検診、プール開き、敷地内合同防災訓練
7	七夕祭り、一泊旅行、全国乳児院研修会
8	地藏盆（滝寺）、夏祭り
9	お月見、海への里帰り
10	秋の遠足、全国乳児院協議会
11	運動会（他施設との交流）、七五三（滝寺）
12	クリスマス（愛染寮との合同、院）、大掃除
1	お正月、宝山寺初詣、合同防災訓練、職員検診、法人研究発表会
2	節分、アートコミュニケーション
3	ひなまつり、味覚狩り

※毎月の行事：お誕生日会・お食い初め・健康発達検診・廻診・予防接種・職員会議・給食会議・避難訓練・お別れ会

### 3. 職員の配置予定

院長 1名 事務員 1名 保育士 17名 看護師 4名  
管理栄養士 1名 調理師等 4名 嘱託医 1名  
嘱託臨床心理士 2名 (非常勤)

計 31名

### 4. 入所、入園児、委託等の予定数

入所児予定数 暫定定員 19名

3歳児 (0名) 2歳児 (5名) 2歳児以下 (5名) 一時保護 (0名) 計 10名

### 5. 職員の研修

- (1) 全乳協 (沖縄県)・近乳協 (大阪府)・県内施設研修会・種別研修会
- (2) 法人内施設研修・県外施設研修
- (3) 県内栄養士並びに調理関係研修会
- (4) 法人内研修会 (新任研修・事務研修・防災訓練・リーダー研修・調理研修他)
- (5) 院内勉強会 (月 1回)・ミーティング (月 1回)

### 6. 県、市からの特別委託事業・補助事業

- (1) 子育て支援短期利用事業 (奈良市・生駒市・桜井市・大和高田市・天理市・橿原市・香芝市・磯城郡・御所市・五條市)
- (2) 機能強化推進事業 (奈良県)
- (3) 小規模グループケア (奈良県)
- (4) 職場体験事業 (奈良県社会福祉協議会)

### 7. 施設・設備の改善計画

- (1) AED 買い替え・・・300,000円
- (2) スチームコンベクション買い替え・・・1,000,000円

### 8. 地域貢献活動

いこま乳児保育園の行う子育て支援事業に職員を派遣して協力する。  
院長は、法務省人権擁護委員として地域の人権啓発活動や相談業務に応じる。また地元自治会役員として、地域との連携や情報収集に努める。

## 9. その他、特記事項

- (1) 第3回目の第三者評価を受審する。
- (2) 導入した処遇システムを活用し、ICT化の充実を図る。
- (3) 実習生及び職場体験の受け入れ 奈良、大阪、京都の大学、短大、専門学校から資格取得のための学生を受け入れ指導。
- (4) ボランティアの受け入れ 保育補助・こどもの衣類の縫い物・こどもの散髪。
- (5) 院外保育として、遠足・一泊旅行、又、担当児と一对一の外出・外泊を実施することにより、愛着関係を深め社会性を身に付けることを目指す。
- (6) 避難訓練及び防犯訓練を様々な場面を想定して月1回以上実施する。敷地内施設や愛染寮との合同訓練も実施する。
- (7) ホームページを通して、新しい情報を発信し開かれた施設を目指す。